

湯島総合センター改築等に係る整備の基本的な考え方（素案）について

1 概要

建物の老朽化に伴う湯島総合センターの改築等について、近隣町会及び利用団体の代表者との意見交換や庁内検討委員会における検討等を踏まえ、整備の基本的な考え方（素案）を取りまとめたため報告する。

2 これまでの検討経過

開催日	開催内容
令和5年 6月15日	第1回意見交換会（全体会 ^{※1} ）
6月26日	団体別意見交換会（青少年委員及び青少年健全育成会）
6月27日	団体別意見交換会（高齢者クラブ）
7月20日	第2回意見交換会（全体会）
8月22日	第3回意見交換会（全体会）
9月26日	第1回庁内検討委員会 ^{※2}
10月24日	第2回庁内検討委員会

※1 近隣6町会及び各利用団体代表者（高齢者クラブ、青少年委員及び青少年健全育成会）

※2 委員長（企画政策部長）、副委員長（政策研究担当課長）、他関係課長

3 整備の基本的な考え方（素案）

別紙のとおり

4 その他

今後、近隣町会及び利用団体代表者との意見交換並びにサウンディング型市場調査の結果等を踏まえ、庁内検討委員会において、整備手法や施設機能等の整理を行い、整備方針の策定に向けた検討を進める。

別紙

整備の基本的な考え方（素案）

○ 老朽化・バリアフリー等への対応

施設全体として老朽化が進んでおり、バリアフリーへの対応等も必要となることから抜本的な整備を実施するため、建替えを行う。

○ 既存施設の存続・充実

既存の福祉センター湯島、湯島図書館、湯島児童館及び湯島育成室は、存続する方向とし、各施設の規模や機能の充実等、今後のニーズを踏まえた検討を行う。

○ 地域の賑わいを創出するスペース

各種イベントの実施等ができるような地域における防災性、公共性にも配慮したオープンスペースなど、地域の賑わいが創出されるスペースを検討する。

○ 世代間交流を生み出す施設

高齢者から児童まで、多世代が利用する施設となることが想定されるため、世代間交流やコミュニティ形成を促進するような施設を検討する。

※参考 意見交換会における主な意見

<施設全体>

- ・各施設において、老朽化が進んでいるほか、バリアフリーの整備が不十分である。
- ・各施設の面積が狭く、求められる機能が十分に確保されていない。
- ・町会イベント等を実施できるオープンスペースがあると、地域の賑わいが創出される。
- ・気軽に立ち寄れて、地域の憩いの場となる機能があると良い。
- ・多世代の交流を生み出すような機能を備えてほしい。
- ・飲食ができるようなスペースがあるとコミュニケーションが生まれる。
- ・災害時に一時的に集まることができるスペース等、防災の視点も盛り込めると良い。
- ・将来的な施設の使い方を見据えた整備ができると良い。

<個別施設>

- ・福祉センターの浴室はコミュニティの場であるため維持してほしい。また、イベントや文化的な活動ができる場所等の施設の充実を図ってほしい。
- ・児童数の増にも対応する児童館・育成室の充実が図られると良い。
- ・図書館は蔵書が少ない。また、勉強や調べ物を行うためのスペースがあると良い。